

学生が希望する就職ができるように

就職支援室（キャリアセンター）

就職支援室の取り組み

平成16年度に設置された就職連携である就職支援室が活動を開始して、ほぼ2年が過ぎようとしている。この間、大学や後援会の援助を受け、新たな就職支援プログラムを実施することができた。

総合教育課程には企業就職を希望する学生も多くいるが、教員採用試験が4回生の夏に行われるために、それに合わせるように就職活動を開始するため、企業就職希望者のスタートが遅れるという現象があった。そこで、企業就職支援を就職活動の基本から行う必要性を感じたので、外部講師を迎えて企業就職支援プログラムを独立させた。2年目になる今年度は就職活動の早期化に対応して企業就職支援プログラムを早期から開始し、面接対策を充実するために集団面接と個人面接の回数を増やすなどの改善を行った。また、総合教育課程のコースごとに就職させたい企業開拓を行っていた。

教員採用試験用の支援プログラムは、教育学であるということから可能な限り学内のスタッフで行うという考え方で進めた。教科教育担当教員を中心に大学院生の力も借り、小学校全教科策講座と、音楽、美術、保健体育の教員、院生の協力で実技試験用の支援プログラムを実施し、模擬面接や模擬授業を退職校長や附属の教員にお願いして行った。また、学生の実力診断と問題点の発見のために出版社等の模擬試験も学

内で実施した。

2年目の今年度、新たに取り入れた内容として以下のものがある。

1. 模擬面接・模擬授業の実施を受験地別にす
るなど、実際の採用試験に即した内容・方法
に改善した。
2. 模擬試験毎に解答解説講座を行い、学力の
レベルアップを図った。
3. 低学年から教員就職意識を高めるため、学
校教育1回生を対象とした教員採用試験に
向けての指導を行った。
4. 教員採用試験不合格者を対象とした「講師
経験者による教員採用試験合格体験談を聞
く会」を行い、来年度に向けての意識の高揚
を図った。

教員就職率が全国5位に

近年の教員採用数の拡大にもよる影響も大だが、教員採用試験支援プログラムの成果や、学生の就職への意識の高まりなどで教員就職率は年々上昇し、平成17年3月卒業生については66.9%と全国国立教員養成学部の中では5番と上位にランクされるようになった。

早期から就職意識を高めるための取り組みとして、今年度からキャリア教育科目の一般教養科目「キャリアプランニングと意志決定」の開講や、各種情報提供の手段として、就職関係行事予定の作成、就職支援ニュースの発行等を行い、全学生・保護者に配布して活動状況を広く周知する

などの活動を実施した。

以上のように、就職支援室では奈良教育大学の学生が希望の就職が可能になるようにサポートしてきた。しかし、全員が希望の就職ができたわけではない。これからも充実した就職支援ができるように頑張りたいと思う。

過去5年間の教員養成課程教員就職率の推移

(単位：%)

区分	13年3月	14年3月	15年3月	16年3月	17年3月
正規	8.2	11.0	19.9	27.3	32.4
期限付	22.6	38.1	32.9	32.4	34.5
計	30.8	49.1	52.8	59.7	66.9
全国ランキング			19位	11位	5位

教員採用試験合格者体験談

学校教育教員養成課程 身体表現コース 窪田 健一
就職先 追手門学院小学校

追手門学院小学校合格

私は小学生のときに担任であった先生に憧れ、小学校教員を目指してこの奈良教育大学に入学しました。入学してから2回生の頃までは、自分が目指す教師像や実際に自分が教師として子どもたちの前に立っている姿をはっきりとは想像できませんでした。しかし、3

回生の教育実習の時に附属小学校で実際に教師という立場で子どもと接したとき、教師の難しさと同じ時に教師という職業に魅力を感じ、さらに教師になりたいという思いが大きくなりました。まだ漠然とはしていましたが、自分なりの教師像というものが少しずつですが着実に見えてきました。

そして、就職支援室による教員採用試験対策のガイダンスや対策講座が始まった3回生の後期から教員採用試験に向けて勉強を始めました。私は周りの友人よりも勉強を始めるのは少し遅かったと思います。遅れていることに少し焦りを感じました。しかし、学校でのガイ

ダンスや対策講座では、実際に教員採用試験を受けた先輩方の話やプロの講師の先生方による講義を聞くことができ、試験勉強を始めるにあたってとても良いスタートを切ることができました。

他にも、大阪府の校長先生をさしている方による実際の面接を想定した面接対策、小学校教員希望者のための実技試験対策など、とても充実した対策講座は、実際の採用試験での力を得ることができました。

私は大阪府と横浜市、追手門学院小学校の3箇所を受けました。結果は、横浜市の二次試験は辞退したのですが、全てに合格することができました。そして、4月からは追手門学院小学校で教師としてのスタートを切ります。まだ不安が大きいです。この4年間学んできたことを生かして、教師への情熱と気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っています。

私の就職体験談

総合教育課程 科学情報教育コース 畑林 一太郎
就職先 富士通株式会社

富士通にしました

私は4月より富士通で働くことになりました。コンピュータを扱う企業では世界でも大手の会社です。就職活動中は気にも止めてはいませんが、我が家にきた初めてのパソコンも富士通の「FMV」でした。縁あって内定をいただき、4月より働かせてもらうことになりました。

就職活動を通して学んだこと

私は就職活動を3回生の10月から始めました。そして、まず初めに感じたことは他大学の学生と奈教生との就職に対してのモチベーションの違いでした。他大学の学生はすでに大学で就職に関してのセミナーや講習が行われていたらしく、企業で働くことへの厳しさや、就職活動に何が必要であるのかということをよく知っていました。

私は就職に必要なスキルを就職活動中の出会いの中で比較的早い段階（企業の正式な採用活動が始まる前）に磨くことができました。もちろん、大学で行われていた『企業就職希望者のためのガイダンス』も大いに役に立ちました。ビジネスマナーについては、ガイダンス以外にも本を読んで勉強し

ていました（10数冊は熟読した）。しかし、実際に講師の先生をはじめ、訓練をつんだ第三者の方に見ていただくことで、自分に足りないところ、そして、頭で分かっていると思うように身体が動かないことが良く分かりました。また、自分の考えが十分に整理できていないことも知ることができました。

確かに奈良教育大学は学生の進路が企業と教員に分かれるぶん、企業就職に対するサポートにハンディがあるかもしれません。しかし、私は書籍を読んだり、OB訪問をしたり、そして、企業の特徴をつかみ、主体的に活動をしていくことで、希望の企業に就職することができました。自分が将来こうありたいという希望や夢があるのであれば、就職活動を行っていく中で、事前にしっかりと準備をして、どのような人材が求められているのかを高いレベルで理解し、その上で自分のビジネス上の価値を相手に正確に伝えることが重要だと感じました。意欲と知性と根性でたいがいのは何とかなると感じました。

大学、就職支援課の方々には勉強の場を提供していただき、大変感謝しております。周りの大きな助力のおかげで、自分はやつと社会に出て行けたのだということを感じています。